

借金が一兆円を超えても
国(政府)が破綻しないのは

山根 栄次

平成二十五年八月一〇日の新聞朝刊は、国の累積債務が同年六月末時点で、初めて一兆円を超えたことを報じた。一兆円という金額は、同年の国の税収である約四〇兆円の二十五倍にもなる。家庭に例えれば、年収四百万円の家庭が一億円の借金を抱えているようなものである。借金の利子返済だけでも大変で、一般家庭であつたら、とくに破綻している。では、なぜ国(政府)は破綻しないのか。楽観論者の中では、国には徴税権があり、いくらでも増税ができるからという考えと、いざとなつたら日本銀行にどんどんお札を印刷させることができるから、という考え方が有力である。信じられますか。

△三重大学教育学部教授▽

そんなバナナ?!

田尻 信壹

「人類が最初に栽培した作物は何か」と子どもたちに質問すると、即座に「ムギ、コメ」と返ってくる。理由を尋ねると、歴史に詳しい児童からは「四大文明では、ムギやコメが栽培されてきたよ」と答える。しかし、中尾佐助(「栽培作物と農耕の起源」岩波新書、1966)によれば、最古の栽培植物は東南アジアで始まったバナナとのことだ。一万年以上も前から栽培されていたとは驚きである。近年では、アフリカでのヒョウタン栽培が有力になっている。栽培作物の起源をたどることで、東南アジアやアフリカにも豊かな農耕文化があつたことに気付かせてくれる。

△目白大学教授▽

コンビニ、介護、居酒屋が
支える日本

馬居 政幸

①卸売・小売一六・四％、②製造一六・一％、③医療・福祉一〇・三％、④建設七・五％、⑤宿泊・飲食サービス五・七％。

二〇一〇年国勢調査による産業(大分類)別就業人口割合上位五種である。技術大国を担う②ではなくコンビニに代表される①が最大産業。③は介護施設、⑤は居酒屋チェーンが代表で、いずれも三次産業。その結果、就業人口全体の六六・五％が三次産業。アベノミクス牽引役の②④の二次産業は二三・七％、TPPで問題の一次産業は四％。円高誘導でのインフレ率上昇のつけの行き先を示唆する構造である。その前に、小五の各産業に割り当てる時間数と子どもたちが担う社会とのズレの確認を。

△静岡大学教授▽



森谷卓生先生（青森県弘前市立文京小学校）



蒔苗尚文先生（青森県つがる市立柏中学校）



江良多恵子先生（弘前大学教育学部附属小学校）



對馬秀孔先生（弘前大学教育学部附属小学校）

平川公明先生（青森県つがる市立柏小学校）

特集 授業で大人気！“通説大逆転ネタ”百科

社会現象・社会現象の七不思議ってーと聞かれたら……山根栄次・田尻信壹・馬居政幸……7
社会を見る目・とらえる力がつく！「通説・常識」の疑い方
この問題・どっちがどうなのネタ

世界の中の日本の姿↓通説？大逆転の実像とは

日本の国家像―通説と実像
領土・領海から見た日本の姿―通説と実像
日本文化―通説と実像
自然環境―通説と実像
戦争観―通説と実像
言語としての日本語―通説と実像
知的財産―通説と実像
GNP―通説と実像

処変われば？時代変われば？日本の出来事―解釈の変遷史

古代・奈良・平安の出来事「死生観」解釈変遷史
中世・鎌倉・室町の出来事「鎌倉幕府の成立をいつからとするか」解釈変遷史
近世・江戸の出来事「寺子屋の学び」解釈変遷史
近代・明治の出来事「幕末の開国交渉」解釈変遷史
現代・大正の出来事「大正デモクラシー」解釈変遷史
現代・昭和の出来事「対中国国府開発援助ODA」解釈変遷史

日本人の論じられ方・ウラオモテ

中国 染谷幸二 40 EU 加賀美雅弘 46
アメリカ 田中義郎 42 東南アジア 桐谷正信 48
韓国 金 玟辰 44 台湾 佐藤 徹 50

勝てば官軍？日本史の見直しイベント

鎌倉時代…あの人物「源頼朝像」の真実とは
室町時代…あの人物「足利義満像」の真実とは
戦国時代…あの人物「斎藤道三像」の真実とは
江戸前期時代…あの人物「徳川家光像」の真実とは
江戸後期時代…あの人物「田沼意次像」の真実とは
明治時代…あの人物「伊藤博文像」の真実とは
大正時代…あの人物「原敬像」の真実とは
昭和時代…あの人物「湯川秀樹像」の真実とは

各県・御当地の伝説―通説逆転のウラ情報

北海道：太田和幸 青森県：宮崎俊哉 岩手県：山崎憲治 宮城県：大風秀康 秋田県：間嶋祐樹 山形県：高橋 徹 福島県：吉川誠仁 茨城県：神永典郎 栃木県：山口浩彦 群馬県：山口幸男 埼玉県：長谷川裕晃 千葉県：青木 一 東京都：石橋昌雄 神奈川県：中村俊哉 新潟県：貝沼浩晃 富山県：水上義行 石川県：瀬川大輔 福井県：瀬戸 勝 山梨県：山口正仁 長野県：松本 康 岐阜県：垣岡靖司 静岡県：小野間正巳 愛知県：宮下裕紀 三重県：永田成文 滋賀県：富士谷晃正 京都府：越智敏洋 大阪府：吉水裕也 兵庫県：小田浩平 奈良県：中谷 昇 和歌山県：稲田徹也 鳥取県：齋藤隆彦 島根県：佐々木茂 岡山県：大野木一雄 広島県：森 才三 山口県：野口政吾 徳島県：稲井智義 愛媛県：脇 規洋 香川県：池田 良 高知県：茂松清志 福岡県：庄 展彦 佐賀県：佐長健司 長崎県：吉武徹也 熊本県：原口琢哉 大分県：野中伸二 宮崎県：内山田博文 鹿児島県：田邊源裕 沖縄県：片桐 功

社会科のツールを開けばいくつ飛び出す？面白ネタ

地図帳 穴戸威之 93 グーグルアース 新村 勲 97
地図帳 池下 誠 94 資料集 神野幸隆 98
年表 若林廣美 95 副読本 伊藤貴啓 99
地球儀 小野一豊 96

社会科との接点で考える「道徳の教科化」

嵐森裕暢 100 伊藤直之 101 堤 敏浩 102 磯山恭子 103
小田泰司 104 平野孝雄 105 岩淵 満 106

連載講座

●今月の教材―楽しい授業づくりのヒント
3年：服部 太 107 4年：根本 徹 108 5年：柳沼孝一 109 6年：宮崎貴寛 110
●中学地理：北尾 悟 111 中学歴史：善財利治 112 中学公民：森口洋一 113
●世界と日本の子ども―社会をどのように認識し、感じ、考えているか
●この単元の構造図―こうなる
●社会科主任の仕事術―ポイントはここ
●社会科実践研究のここにハイライト（小学校）
●社会科実践研究のここにハイライト（中学校）
●社会科研究最前線―わが教室の取り組み、ここに注目して
●わが国の情報―「112」の授業あり！ 青森県の巻